

学校教育における情報化の推進について

1 学校教育において情報化の推進が求められる背景

児童生徒に複雑で変化の激しい社会に対応できる資質や能力を育むためには、学びの量とともに、質や深まりが重要であり、子どもたちの学びに向かう力を育てることが重要である。特に、実社会や実生活に関連した課題等を通じて動機付けを行い、子どもたちが「どのように学ぶか」についても光を当て、「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び（アクティブ・ラーニング）」の推進を図らなければならない。

◇ICTの特性

- ・多様で大量の情報を収集、整理・分析し、まとめて表現することができ、カスタマイズが容易である。
- ・時間や空間を問わずに、音声・画像データ等を蓄積・送受信できるという時間的・空間的制約がない。
- ・距離に関わりなく相互に情報の受信・発信のやりとりができるという双方向性を有する。



このことから、ICT活用は「アクティブ・ラーニングの視点に立った深い学び、対話的な学び、主体的な学びの実現」、「個々の能力や特性に応じた学びの実現」「過疎地域等の地理的環境や学校規模に左右されない教育の質の確保」に大きく貢献すると言える。

◇高島市においては…

『高島市教育大綱』の【重点目標】

■生きる力を育む乳幼児教育・学校教育の充実

『平成28年度 教育の重点』の「6」

学校におけるICT環境をさらに充実させ、児童生徒の学力向上を図る効果的な指導に努める。

■ICT機器の効果的な活用

電子黒板や書画カメラ、プロジェクターなどを活用し、児童生徒の学習意欲の向上を図り、わかる授業を展開する。また、インターネット等の使用についてのルールやマナーの教育を充実する。

2 情報化推進の基本方針

◆基本方針1 「ICTを活用した効果的な教科指導方法の確立とその定着」

指導用ツールとしてタブレット端末と電子黒板を積極的に活用することで、「児童生徒

が主体的に学ぶ授業」をあらゆる教科・領域で系統的に実施する。これまでの「教える授業」から「学び合う授業」への転換を図ることで、児童生徒が「じっくり考える授業」「理解を深める授業」を実現する。

授業での活用例（イメージ）



教員による教材の提示

画像の拡大提示や書き込み、
音声、動画などの活用



個に応じる学習

画像の拡大提示や書き込み、
音声、動画などの活用



調査活動

画像の拡大提示や書き込み、
音声、動画などの活用



発表や話し合い

グループや学級全体での発表
・話し合い



協働での意見整理

複数の意見・考えを議論して
整理

◆基本方針2 「教員のICT活用指導力や授業力を高めるための支援体制の充実」

- ・各校においてICTを活用した授業の実践研究を進めていく。
- ・各校におけるICT活用推進リーダーの育成を目的とした研修会を定期的の実施し、推進の核となる教員の裾野を広げる。
- ・年度毎に教員のICT活用指導力に関する調査を行い、その変化や問題の原因を分析し、改善点等について教育委員会から適宜、助言・指導を行う体制を構築する。

◆基本方針3 「計画的な環境整備による費用対効果の最大化」

- ・電子黒板や実物投影機などの導入済のICT機器について、老朽化に伴う不具合等により学校におけるICT活用への影響を生じさせないように、計画的な更新整備を行う。
- ・ICT環境の整備・更新に当たっては、費用対効果の観点から、最も効率的・効果的な投資となるよう、常に最新の製品情報や全国の教育ICT動向に関する情報を入手するように努めるとともに、機能とコストのバランスを考慮した最適な整備内容を検討する。